

妊娠を希望する女性のための

風しん予防接種を助成します！

～成人の風しん予防接種助成事業のお知らせ～



2012～2013年、首都圏・近畿地方を中心に風しんが大流行しました。患者のうち9割は成人で、風しんの抗体価が充分でないとされる20～40代の男性や20代の女性に多い状況でした。妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかるとおなかの赤ちゃんに難聴や心疾患、白内障、身体・精神発達の遅れ等の症状（先天性風しん症候群）が出る可能性が高くなります。この度の風しんの流行において、先天性風しん症候群と診断された赤ちゃんは44人にのぼりました。風しんは数年毎に流行しています。増毛町では、妊婦さんと赤ちゃんを守るために風しん予防接種費用の一部を助成します。妊娠を希望する女性は、予防接種を済んでいるか確認し、済んでいない場合はぜひこの機会に予防接種を受けましょう！

1. 対象者

①妊娠を希望する女性

②風しんの抗体価が低い妊婦さんの夫（パートナー含む）、同居者

★妊娠中及び妊娠している可能性のある方は接種できません！又接種後2か月間は避妊が必要です。

★現在妊娠中の方で、妊娠初期の血液検査の結果で風しん抗体価の値が低かった方は、産後、次のお子さんを妊娠するまでに予防接種を受けることをお勧めします。

※いずれも増毛町に住民票のある方に限ります。

※風しんの既往がある方（抗体検査で確認されたもの）や過去に風しんワクチンもしくは麻しん風しん混合ワクチンを2回接種したことが明らかな場合は対象外とします。2回接種している場合は十分な免疫がついているので、受ける必要はありません。

2. 助成対象ワクチン

- ①麻しん風しん混合ワクチン ②風しん単独ワクチン（流通が少ないワクチンです）

3. 申込先

健康一番館内
子育て世代包括支援センター
☎53-3111（内線524）

★接種したい日の1週間前にはお申込み下さい。

★いずれの医療機関で接種する場合も必ず左記までお申し込み下さい。

★母子手帳がある場合、予防接種状況を確認して申し込んで下さい。分からない場合でも接種はできます。申し込み後、予診票や受診票を送付します。

〔裏面もご覧下さい〕

5. 接種できる医療機関

★増毛町立市街診療所

接種日は「子どもの健康カレンダー」をご覧ください

受付時間；15：30～16：00

接種開始；16：00～ ※通常の外来受付時間とは異なります

持ち物；接種費用（自己負担分 2,000 円）、予診票

ワクチン；麻しん風しん混合ワクチン

その他；乳幼児の予防接種と同日になります。また、診療所の都合により若干の待ち時間がある場合がありますが、ご了承ください。

★留萌市内の医療機関

接種できる医療機関名

川上内科医院、たけうち内科循環器内科医院、藤田クリニック

受診票のない方は
接種できません。
必ず担当に
申しして下さい。

持ち物；接種費用（自己負担分 2,000 円）、送付する受診票・予診票・予防接種済証

★その他の医療機関で接種を希望する場合

予防接種依頼書、予防接種助成金申請書等必要書類を発行しますので、必ず事前に保健指導係までご連絡ください。接種費用は一度全額ご負担いただき、自己負担分（2,000 円）以外にかかった費用を払い戻しします。接種後、予防接種助成金申請書と接種したことがわかる書類（領収書等）、振込先通帳の写しを提出していただきます。

6. 予防接種副反応について

主な副反応として発熱や発しん、接種部位のかゆみやはれ、硬結（しこり）等が見られる場合がありますが、通常、数日中におさまります。まれに重い副反応として、ショック症状、じんましん等のアナフィラキシー様症状や急性血小板減少性紫斑病、脳炎及びけいれん等が報告されています。万が一、予防接種により健康被害が生じたときは「医薬品副作用被害救済制度」及び「増毛町予防接種事故災害補償規定」により補償される場合があります。

【風しんとは】

風しんウイルスによっておこる急性の熱性発しん性感染症です。潜伏期間は2～3週間で、主な症状として発しん、発熱、リンパ節のはれが認められます。基本的に予後は良好ですが、まれに血小板減少性紫斑病や脳炎といった重い合併症が見られることがあります。通常子どもでは3日程度で治る病気ですが、大人がかかると関節痛がひどくなる特徴もあり、1週間以上仕事を休まなければならない場合もあります。

ワクチンを接種した人の咽頭（のど）から1～2週間後ワクチンウイルスが出てくることはありますが、周りの人に感染することはありませんので、妊婦さんのご家族が接種しても心配ありません。